



## 生ごみをたい肥にしてみませんか



**生ごみは燃えるゴミとして燃やされていますが、  
まだまだ命をつなぐ栄養がたくさん！**

生ごみをたい肥に変えたら、虫や、微生物の栄養になり、分解を繰り返して土となり、新しい命が生まれ、循環していきます。

「生ごみのたい肥化」というハードルが高そうですが、「生ごみをたい肥にして家で使ってみたい」、「市の指定収集袋のサイズを小さくして節約したい！」など、どんな動機でも**生ごみを減らしてみたいと考えている方！**

一度チャレンジしてみませんか？

★ 生ごみのたい肥化にはいろいろな方法がありますが、この冊子では主なものを紹介します。



## 生ごみ処理機器いろいろ

### 主な生ごみ処理機器と、その特徴

種類	設置場所	主な特徴
電気式 生ごみ処理機	屋内、屋外 両タイプ あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>手間がかからない</li> <li>虫が発生しない</li> <li>高価</li> <li>電気代がかかる</li> </ul>
設置型 コンポスト 容器	庭または 家庭菜園 (土の上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち葉や雑草を入れることができます</li> <li>ごみの量が多すぎて、よく混ぜられない場合 虫・臭いが発生することがある</li> <li>混ぜる作業に力がいる</li> </ul>
密閉容器	屋内	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所をとらない</li> <li>長期間放置すると臭いが出る場合がある</li> <li>ぼかし（生ごみの発酵促進剤）を買う必要がある</li> </ul>
ダンボール コンポスト	屋外 (雨のかからない場所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>臭いが出にくい</li> <li>虫が発生することがある</li> <li>基材、ダンボールは適宜交換の必要がある</li> </ul>

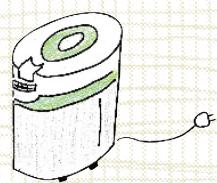
★上記の生ごみ処理機器等は、市の補助金制度があります。（令和3年（2021年）4月時点）現在も補助制度を継続しているかどうか、継続している場合の補助金申請方法等についてのお問い合わせは、ごみ減量対策課（042-620-7256）まで。購入前にお問い合わせください。

### ミニ情報① 生ごみ処理機器に入れてはいけないもの

- 上記の処理機器すべてに共通で、紙やビニール、プラスチックなど人が食べられないもの、貝殻は分解できないので入れないようにしましょう。
- 設置型コンポスト容器以外は、落ち葉や雑草を入れられません。
- 電気式は、入れてはいけないものが機種によって異なります。説明書などでよく確認してから使用しましょう。

## 電気式の生ごみ処理機

電気式の生ごみ処理機は、大きく分けると生ごみを温風乾燥させる乾燥式、微生物により分解させるバイオ式の2種類があります。



### 乾燥式の主な特徴

- ・主に屋内に設置する。
- ・生ごみを温風で乾燥させて、量を減らす。
- ・乾燥させた生ごみをたい肥として使うには、土の中で熟成させる必要がある。

### バイオ式の主な特徴

- ・主に屋外に設置する。
- ・処理機専用の基材の中に生ごみを入れ、攪拌し、微生物の力で分解させる。
- ・処理機専用の基材の交換が必要（交換時期はメーカーによって異なります）



**電気式の生ごみ処理機は、  
メーカー・機種によって処理方法や  
設置場所、価格、消費電力、  
消耗品などが異なるので、仕様を  
よく調べて、自分の使いやすいも  
のを購入してくださいね！**

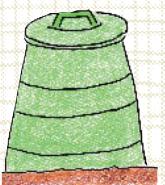


### ミニ情報② 八王子市生ごみリサイクルリーダーをご存知ですか？

生ごみリサイクルリーダーとは、生ごみリサイクルへの熱意や見識があり、地域の普及活動に積極的に市の施策に協力していただける市民の方々です。令和3年(2021年)3月現在8人が活動しています。ダンボールコンポスト講習会の助手などを経て、八王子市で認定しており、ダンボールコンポストや設置型コンポスト容器の講習会講師のほか、ダンボールコンポストを小学校で活用するときの授業での講師、環境フェスティバルなどのイベント会場で活躍中です。

## 設置型コンポスト容器

設置型コンポスト容器とは、庭や家庭菜園などに直接埋めて使う、プラスチック製の生ごみ処理容器のことです。落ち葉や雑草などと一緒に生ごみを入れて、地中の微生物の力で分解し、たい肥化させます。



### 用意するもの

設置型コンポスト容器、柄の長いスコップ、腐葉土や落ち葉、布カバー（通気をよくするため、ふたをとて、本体にかぶせて使うもの）

### 設置する場所

庭または家庭菜園

### 使い方

- ① コンポスト容器の底面に合わせて地面を10～20cmくらい中心を深めに掘り、底の土をスコップで細かく碎いてから、容器を設置する。
- ② 中心部に腐葉土、落ち葉などを敷く。
- ③ 生ごみを投入し、その上に腐葉土や落ち葉、土をかぶせ、その都度よく混ぜる。このときに密閉容器で発酵させた生ごみを投入してもよい。
- ④ 容器の半分ほどたまってきたら、熟成に入るため、生ごみの投入をやめる。（容器いっぱいに入れるとかきませにくくなるため、半分くらいで熟成に入るのがおすすめです。）
- ⑤ ときどきかきませながら、3ヶ月ほど置いたら、たい肥の完成。

### ポイント

- ★ 虫、臭いの発生を防ぐために、生ごみの水はよく切り、コンポスト内をよくかきませて空気を入れる。
- ★ 熟成中は生ごみを入れられないため、2基用意すると休まず続けられる。
- ★ 天気のよい日には容器内の通気をよくするために、ふたを開けて虫よけ用に布のカバーを本体にかぶせておくとよい。



**市では、設置型コンポスト  
容器の講習会を年に2回ほど  
実施しています。**

**あつたかホールの庭を使って  
実演も行っており、好評をい  
ただいています。**

**講習会のお問い合わせは  
エコひろばまでどうぞ！**



## 密閉容器

密閉容器とは、密閉して酸素の少ない状態の中に生ごみを入れて微生物の力で分解させるものです。処理した生ごみをたい肥として使うには土と混ぜて熟成させてからです。暑い時期には生ごみを分解していく過程で、ぬかみそのような発酵臭が発生することがあります。



### 用意するもの

密閉容器、ぼかし（生ごみの発酵促進剤）

### 設置する場所

屋内の台所など生ごみを入れやすいところ

### 使い方

- ① 生ごみは細かく刻んで水を切る。
- ② 生ごみを容器に入れて、ぼかしをふりかけてあえる。
- ③ ふたを閉めて密閉する。
- ④ 下のほうに液肥がたまってきたら、栓から液肥を抜く。
- ⑤ 生ごみを毎日入れる場合、1週間ほどで終わりにして2、3日置いてから土に埋めて熟成させる。（密閉容器いっぱいにしなくてもよい）

### ポイント

- ★容器にたまつた生ごみは、長期間放置するとぬかみそのような臭いが発生することがあるので注意。
- ★抜いた液肥は、そのつど300～500倍にうすめてプランターや庭にまいて使える。
- ★処理した生ごみを設置型コンポスト容器に入れてたい肥化することもできる。

密閉容器については、設置型コンポスト容器の講習会の中で使い方などをお話しています。コツを覚えてからのほうが取り組みやすい方法なので、興味のある方は、まずは講習会にお越しください。



## 生ごみリサイクルリーダー紹介① 土方さん

講習会では主に、設置型コンポスト容器や密閉容器を担当しています。



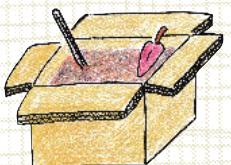
### 土方さんから一言

「生ごみは、大切な資源！」と考え、30年以上、生ごみの資源化を続けています。その間生ごみを可燃ごみの収集に出していないんですよ。今では、生ごみを分解してくれる虫さんがかわいくなってきました！

## ダンボールコンポスト

ダンボールコンポストとは、ダンボール箱に入れた基材に生ごみを入れてかき混ぜ、微生物の力で分解し、たい肥に変えるものです。

ここでは、エコひろばや市役所売店で販売しているダンボールコンポストセットを利用する方法をご紹介します。



### 用意するもの

ダンボールコンポストセット（ダンボール箱、基材、温度計、虫よけのカバーもしくはキャップ）、スコップ（竹チップセットには付属しています）、箱を置く台（苗箱やビールケースなど通気性のよいもの）



基材

### 設置する場所

屋外の雨の当たらない場所

### 使い方

- ① 基材を袋のままもみほぐしてから、箱の中にあける。
- ② 箱に入れた基材の中心に穴を掘り、生ごみを入れ、よくかき混ぜてまわりの基材をかぶせ、真ん中に温度計をさす。2回目以降は前日入れたものの中心に穴を掘り、生ごみを入れてよくかき混ぜて、まわりの基材をかぶせ、真ん中に温度計をさす。これを毎日繰り返す。
- ※ 毎日入れる生ごみの量は500g以下がおすすめ。
- ③ 45kg程度まで生ごみを入れたら、熟成させるため、生ごみは入れずに週に1～2回、水を入れてかき混ぜる。
- ④ 生ごみが消えて、土のにおいがしてきたらたい肥のできあがり。

詳しい使い方は、ダンボールコンポスト講習会で生ごみリサイクルリーダーがていねいにお話ししています。興味のある方はぜひ、講習会に参加してくださいね！お待ちしています♥



## 生ごみリサイクルリーダー紹介② 大谷さん

主にダンボールコンポスト講習会を担当しています。



### 大谷さんから一言

生ごみの減量化に取り組み、狭いスペースでできるダンボールコンポストを使っています。ここで出来た堆肥は庭の植木にあげ、毎日の作業と咲く花を楽しみに続けています。生ごみの減量で焼却費・CO<sub>2</sub>の発生が減り、住み易い環境を作りたいと思います。